

令和元年度 大館市立花岡小学校 学校評価書(前期・年度)

A 学校教育目標

主体的に学び、 気概をもって生きる児童の育成	
めざす児童像	人を大切にする子(健康と勇気) 学びを楽しみ深める子(知性と哲学) チャレンジを楽しむ子(創造性とつながり)

B 本年度の重点目標

◎ 課題対応能力の育成～ふるさとキャリア教育の充実を通して～

C 学校経営の特徴

◇ふるさとキャリア教育の理念を基礎とする様々な活動	
・課題対応能力を育成する学校行事、児童会活動	
・総合的な学習の時間の充実	
◇全校体制による学級経営	
・明るく楽しい学級づくり	
◇開かれた学校づくりと全職員による学校経営	
・職員相互の共通理解による授業実践	・時期を考慮した全職員による経営反省
・学校評価と勤務評価のリンク	・保・小・中の連携、地域との連携
◇基本的な生活習慣と学習習慣の育成	
・あいさつ等基本意識の向上	・学習習慣の確立のための家庭との連携



5月 花小まつり～運動会編～
(全校児童によるよさこいソーラン)



6月 図書館まつり
(読み聞かせ with はちくん)



10月 太鼓集団「鼓童」の演奏会



11月 全校なべっこ

D 評価

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／肯定率95%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／肯定率85～94%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／肯定率65～84%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／肯定率50～64%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／肯定率49%以下の達成

I 人を大切にする子どもの育成

	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
			前期	年度
健康な心と体をつくろうとするとともに、規範意識をもって自他の心や人間関係等を大切に人間尊重の精神を育んでいる。	前期	おおむね良好	おおむね良好	授業を見て、子ども・教師とも元気で表情もよい。自他を大切にしている気持ちが育っていると感じた。児童ヒアリングで6年生から、「地域の方々への感謝の気持ちを示せる花岡小であって欲しい。」という発言があった。この発言をこれからの学校運営に生かして欲しい。メディア使用に対する取組は、今後も最重要の課題として小・中が連携して取り組み、保護者の意識を変えていきたい。
	年度	良好	良好	子どもが活力のある学校づくりを実感できるのはとてもよいことである。メディアコントロールについては、今後も機会を捉えて、子ども・保護者の意識を高める取組を継続して進めて欲しい。
自己評価の改善の善概要と	【前期(→年度)】 児童・保護者アンケートの結果より、心身ともに健康な生活を送ろうとしていることが分かる。あいさつや校外でのくらしについて、職員が共通理解をして善悪をはっきりさせて指導していることが効果的であると考えられる。今後は個に応じた指導を強化していく。また、生活習慣アンケートやすこやかチャレンジカードの活用により、児童も保護者も規則正しい生活について意識することができている。しかし、規則正しい生活が大事だということは学んでいるが、実践できているかという点、課題が残る。特にゲームやインターネット動画の長時間利用が目立ち、学校生活にも悪影響がでている。これまでも学級だよりや懇談会で話題にしてきたが、校長だよりでも危険性や“我が家の実践例”等を紹介して継続して呼びかけていく。			
	【年度(→次年度)】 前期も心身ともに健康な生活を送ろうとしている児童・保護者が多く見られたが、さらなる向上を目指し、各学年で栄養士による「食に関する指導」や薬剤師による「薬物乱用防止教室」などを行った。また、学級だよりだけでなく、校長新聞でも具体例を示しながらメディアコントロールについて啓発し続けてきた。11月のPTA全体会では生徒指導主事からゲーム依存についての事例とメカニズムについても話をした。これらにより保護者のポイントが向上した一方、自分は規則正しい生活がきちんとできていないと感じたのか、児童のポイントはやや下がったものの、全体的には良好な評価と考えられる。また、より自己肯定感を高め、他者理解を深めるために、小中連携実践として、友達のいいところ探しを3月上旬に実施する。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 心身の健康づくり	(1)生活習慣向上に向けた実践	生活習慣アンケートの実施と活用、保健だよりの工夫 食育指導・保健学習の工夫、家庭との連携	3	4
	(2)継続的な体力づくりの取組と体力の向上	種目別補強運動と教科体育の充実 業間運動の活用、体力テストの個人データの活用		
2 規範意識と人間尊重の精神	(3)集団の一員としての自覚ある言動	縦割り班活動・委員会活動・学校行事等での活動	4	4
	(4)明るさ・活力・自他を大切にしている学級づくり	学級指導・学級活動の充実 人間尊重精神育成施策の工夫、こども哲学		

【1に関するデータ】

○生活習慣向上に向けた取組を行っているか。

アンケート回答者 保護者47名、児童4、5、6年生39名、教職員13名

(早寝・早起き・朝ご飯・歯磨き・食育・メディア)

(平均値 保護者3.74 児童3.44 教員3.38)

保護者 よい(77%) まあまあ(21%) やや不十分(2%) 不十分(2%)
児童 よい(59%) まあまあ(31%) やや不十分(5%) 不十分(5%)
教員 よい(38%) まあまあ(62%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○継続的な体力作りに努めているか。

(平均値 保護者3.40 児童3.64 教員3.46)

保護者 よい(45%) まあまあ(51%) やや不十分(4%) 不十分(0%)
児童 よい(69%) まあまあ(26%) やや不十分(5%) 不十分(0%)
教員 よい(46%) まあまあ(54%) やや不十分(0%) 不十分(0%)



【食に関する指導】

【2に関するデータ】

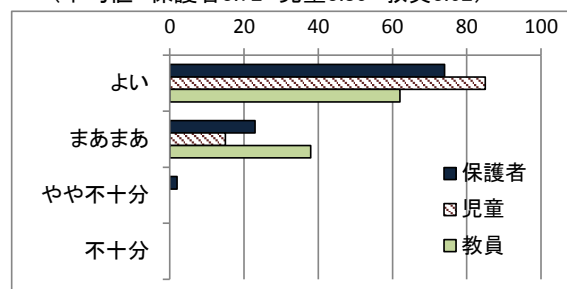
○集団の一員として自覚ある言動をしているか。

○明るく活力ある学級づくりが行われているか。

(平均値 保護者3.72 児童3.85 教員3.62)

(平均値 保護者3.70 児童3.77 教員3.62)

保護者 よい(74%) まあまあ(21%)
やや不十分(0%) 不十分(0%)
児童 よい(77%) まあまあ(23%)
やや不十分(0%) 不十分(0%)
教員 よい(62%) まあまあ(38%)
やや不十分(0%) 不十分(0%)



Ⅱ 学びを楽しみ、深める子どもの育成

内発的動機付けに支えられた学びを楽しむとともに、互いの考えを共有したり多角的に考えたりするなど、学びを深める指導を行っている。	自己評価A		学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	良好	良好	良好	
	年度	良好	良好	良好	アンケートより児童の改善策を考え、具体的に取り組んでいるので、この方向で進んで欲しい。メリハリのある授業、伸び伸びとして授業で互いに学び合っている。今後も更に磨きをかけて欲しい。
					子どもが生き生きと学び合い、確実に基礎・基本の定着が図られていることがアンケート結果からうかがえる。本と触れる機会を今後も意図的に設定して欲しい。

自己
校評
の価
改の
善概
策要
と

【前期(→年度)】

昨年度のアンケート結果と比べると、保護者・教師については、ほとんどの項目で評価が上がっている。目標をもって取り組んできたことが家庭にも伝わった結果と思われる。児童の結果では、「学習習慣」や「一人勉強」についての評価が下がっている。取り組みとして、家庭学習の交換ノートや家庭学習ノート展を行ったが、友達の様子を知ることで自分の取り組みを振り返り、意識するきっかけとなったと考える。これからも、力と自信につながるノート指導をしていきたい。「学び合い」について、児童は自信をもって取り組んでいるので、教師も引き続きチャレンジしていきたい。読書については、今までのミラクルバナナさんに加えて花矢図書館の方による読み聞かせや図書館まつりが子ども達の読書に向かう楽しみな時間となっている。

【年度(→次年度)】

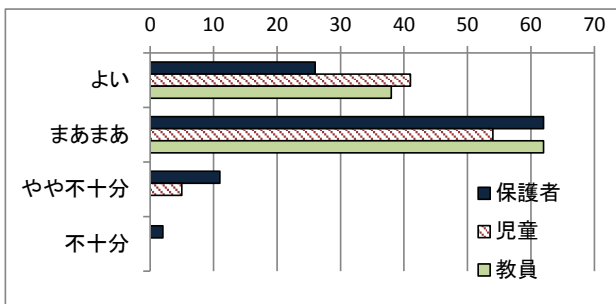
前期と比べて、「基礎・基本の定着」については、児童、保護者、教師の全てで数値が上がった。特に教師の数値が大きく上がったのは、各種学力検査に向けてのパワーアップやベーシック授業での取り組みが徹底されていた結果と思われる。学び合いについては、保護者の数値の上がり大きい。各訪問の様子やPTAの授業参観での生き生きとした児童の姿を評価していただいたものと捉える。また、児童の記述アンケートでは、各学年から「発表に自信がもてるようになった」という内容のものが多数見られた。読書については、「読み聞かせ」や「図書館祭り」に加えて、11月の読書強調週間の成果が出たと思う。さらに、3学期は図書室や「花矢図書館」に足が向くような機会を設けたり、呼びかけをしたりして、本とたくさん触れ合えるように力を入れている。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 基礎・基本の定着	(5) 基本的な学習習慣の定着	「学習の約束」の徹底、家庭学習の充実	3	3
	(6) 基礎・基本の定着	ベーシック授業、狙いと評価の一体化、各種調査活用 習熟時間確保、音読、論理トレーニング、詩文等暗唱		
4 学びの多面化・深化	(7) 学び合い充実	チャレンジ授業、意欲を引き出す課題提示、学び合いのコーディネート、ミーティングの充実、こども哲学	3	4
	(8) 読書活動の充実	昼読書の実施、読書運動の充実 読み聞かせの推進		

【3に関するデータ】

○基本的な学習習慣が定着しているか。

(平均値 保護者3.11 児童3.36 教員3.38)



○計算、漢字、読み書きなど、学習の基本が身に付いているか。

(平均値 保護者3.28 児童3.41 教員3.77)

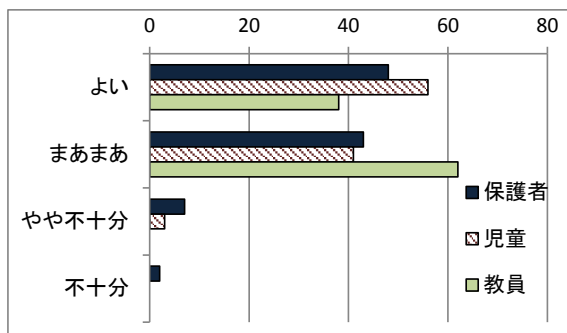
保護者 よい(35%) まあまあ(61%) やや不十分(2%) 不十分(0%)
 児童 よい(54%) まあまあ(33%) やや不十分(13%) 不十分(0%)
 教員 よい(77%) まあまあ(23%) やや不十分(0%) 不十分(0%)



【4に関するデータ】

○学び合いの充実が図られているか。

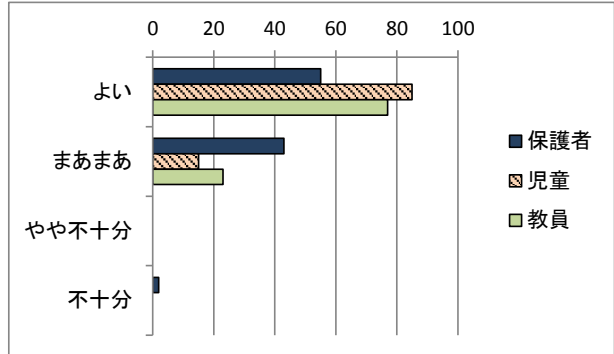
(平均値 保護者3.37 児童3.54 教員3.38)



【花矢図書館の司書による読み聞かせ】【プラットフォーム:学び合いの様子】

○読書活動が推進されているか。

(平均値 保護者3.51 児童3.85 教員3.77)



Ⅲ チャレンジを楽しむ子どもの育成

	自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	挑戦意欲をもち、連携する力と創造性を発揮しながら主体的に活動する子どもを育てている。	前期 良好	良好
	年度 良好	きわめて良好	地域とつながりチャレンジする機会を通して、子どもたちはたくましく成長している。保護者の方々も子どもの変容をうれしく思うと共に、学校への信頼度も絶大である。
自己評価の改善概要と	【前期(→年度)】 アンケートでは、児童・保護者ともに、友達と助け合い、協力しながら取り組んでいることへの評価が高い。学校行事や学級での活動全般にわたる、仲間意識をもった主体的な活動の成果と考えられる。1学期は、全校では「花小まつり～運動会編～」でよさこいを主に、各学年では宿泊行事や地域との交流活動などにおいてチャレンジ活動を行った。いずれも、活動前後のミーティングを大事にしてきた。今後も、「勇気」「つながり」「チャレンジ」などのキーワードをポイントにミーティングを重ねていきたい。昨年度のスマイルフェスティバルにあたる行事が2学期に予定されている。リーダーシップやフォローアップの内容(具体的な行動)の提示や適切な形成的評価などを交え、チャレンジへの意欲を高める働きかけを続けていきたい。		
	【年度(→次年度)】 「いろいろな活動に勇気をもってつながり、チャレンジしている」の項目が、保護者・児童・教員すべてにおいて評価が高くなっている。全校では「花小まつり～つながりの第一歩編～」や花岡シャイニングストリート、各学年では施設訪問や体験学習、さらに花岡版子どもハローワークなど、地域とつながりチャレンジする機会が多かったため、達成感や満足度も大きかったと考えられる。それらの活動や授業、縦割り掃除や委員会などでもミーティングが定着し、学年・学級のみならず、他学年からの学びの機会になると共に縦の結びつきもできてきた。今後は、個のレベル設定など、さらに意欲を高める手立てを考えていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 チャレンジ精神の高揚とつながる力の育成	(9)チャレンジ活動の(学年・全校)の推進と	課題対応能力育成のための各学年及び全校の実践リーダーシップとフォローアップの育成	4	4
	(10)創造性・連携する力の向上	各種ミーティングでの仲間意識・多面的思考の育成 学級係・委員会活動等の児童活動、地域貢献活動	4	4

【5に関するデータ】

○いろいろな活動に、勇気をもってつながり、チャレンジしているか。

(平均値 保護者3.68 児童3.72 教員3.85)

保護者 よい(68%) まあまあ(32%) やや不十分(0%) 不十分(0%)
 児童 よい(72%) まあまあ(28%) やや不十分(0%) 不十分(0%)
 教員 よい(85%) まあまあ(15%) やや不十分(0%) 不十分(0%)



【花岡版子どもハローワーク】

【6に関するデータ】

○互いに助け合い、支え合いながら協力して活動しているか。

(平均値 保護者3.74 児童3.85 教員3.77)

保護者 よい(74%) まあまあ(26%) やや不十分(0%) 不十分(0%)
 児童 よい(85%) まあまあ(15%) やや不十分(0%) 不十分(0%)
 教員 よい(77%) まあまあ(23%) やや不十分(0%) 不十分(0%)



【花小まつりで地域団体と全校合唱】



花岡シャイニングストリート点灯式

IV 組織運営

	自己評価A		学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	年度		
教職員が重点目標を意識し、主体的かつ組織的に取り組んでいる。	前期	おおむね良好	良好	全職員が同じ方向に向かい良好な経営である。花岡らしさが伝わり、チームワークのよさを感じる。
	年度	良好	良好	先生方が重点を意識し、主体的に取り組むことで、共通理解に基づいた生徒指導などが行われ、子どもがよりよい方向に育っている。今後もPDCAサイクルを機能させて欲しい。
自己評価の概要と	【前期(→年度)】			
	年度初めのキャリア教育検討会において今年度の方向性の確認を行い、さらに学期末にワークショップ型で検討することで全職員が同じ方向に向かって学校経営に参画することができている。また、カリキュラム一覧表の活用により、上学年が下学年に昨年の活動の様子を伝えるなど縦のつながりを意識しながら教育課程を編成するようにしている。生徒指導においてはスピード感を意識し、事案発生時には情報共有を確実にし素早く対応することができている。後期もオール花岡でチーム力を発揮していきたい。			
自己評価の概要と	【年度(→次年度)】			
	各指導部の方針・重点を意識して、全職員が授業・諸活動に取り組むことができた。また、ただ取り組んだだけでなく、活動後の振り返り、反省会等をしっかり行い、出来るものは次の活動にすぐ生かせるようにした。生徒指導については、職員の情報交換や打ち合わせを十分に行い、全職員が共通理解のもと指導に取り組んだ。教育課程の編成と実施については、重点目標が達成できるようカリキュラム一覧表を活用し、学年の縦のつながり、横のつながりを意識しながら、活動ができた。その反省を生かし次年度にいかしていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 教職員の学校経営参画	(11)各指導部の方針や重点施策の明示	重点目標との関連を重視した施策の立案と実施	3	4
	(12)PDCACによる経営改善	定期的な評価の実施、ワークショップによる取組の反省評価を生かした改善策の実施		
7 組織的な生徒指導	(13)共通理解に基づいた生徒指導	職員会議・打合せ・文書等での共通理解、課題に対する早期対応	3	4
8 教育課程の編成と実施	(14)特色ある教育課程の編成	本校重点目標に基づいた教育課程の編成と実施 小中、小小連携	4	4

【6に関するデータ】

○各指導部の方針や重点施策が明示され、さらに実施されているか。

(平均値 教員3.46)

教員 よい(54)% まあまあ(38)% やや不十分(8)% 不十分(0)%

○PDCACにより経営改善が図られているか。

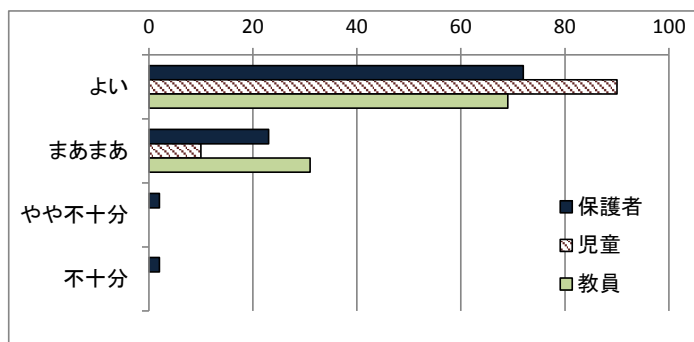
(平均値 教員3.54)

教員 よい(62)% まあまあ(31)% やや不十分(8)% 不十分(0)%

【7に関するデータ】

○共通理解に基づいた生徒指導が行われているか。

(平均値 保護者3.66 児童3.90 教員3.69)



【本校を会場に行われた小中連携部会】

【8に関するデータ】

○特色ある教育課程が編成されているか。

(平均値 教員3.54)

教員 よい(54)% まあまあ(46)% やや不十分(0)% 不十分(0)%

V 保護者・地域との連携

学校の取組がわかりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	自己評価A 学校関係者評価		学校関係者評価委員のコメント
	前期	年度	
	おおむね良好	良好	各種お便りは充実している。学校、保護者、地域の連携も取れ、地元が元気になっている。
	良好	良好	地域人材などを活用するなど、ふるさとキャリア教育を通して、保護者・地域の方々の一体感を高めている。また、ふるさとに対する愛着心も着実に育まれている。
自己評価の改善の概要と	【前期(→年度)】 学校報、学年だより、保健だより、チャレンジ通信等の各種お便りの発行、ホームページやブログの随時更新などで児童の活動の様子を分かりやすく伝えることできた。保護者や児童も発行や更新を楽しみにしているようなので、今後も継続していきたい。また、運動会での中学生の協力、地域人材を活用したクラブ活動や職場体験など、地域活動の充実も図られている。特に、今年度始めた花岡版子どもハローワークでは、地域の協力を得ながらたくさんの子どもの子どもたちが働くことの楽しさや大変さを体験することができた。後期は、花小まつり～つながりの第一歩編～があり、地域のために地域を元気にするために現在準備を進めている。		
	後期も前期同様、3、5を大きく越える項目が多く高い評価を得ている。年2回のお便り集の発行や月一回の学校HPの更新などで、学校の様子を伝えることはもちろん、花小まつり・太鼓集団「鼓童」の演奏会や「なべっこ」などの行事にもたくさんの保護者や地域の方々の参加があり、一体感を味わうことができたためだと思われる。さらに、職場体験や地域学習など(花岡温泉・図書館訪問など)、各学年が学習の場を地域に広げたり、陶芸教室や折り紙サークルなど地域の方々に先生に充実した活動ができたりと保護者や地域とつながり合いながら取り組むことができている。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
9 情報の受発信	(15)学校報、学年だより、各種たよりの充実	学校報・学年だより・各種たよりの内容の工夫 HPの定期的な更新	4	4
	(16)学校開放充実	学校行事への積極的参加要請、学校行事の工夫		
10 地域との連携	(17)地域人材の活用と地域活動の充実	学習活動・クラブでの地域人材の活用、ボランティア活動への参加	3	4
	(18)地域に対する愛着心や誇りを高める実践	市や地域行事への参加、ふるさと学習の充実、地域探検、職場体験 保小連携		

【9に関するデータ】

○学校報、学年だより、各種のおたよりは充実しているか。

(平均値 保護者3.77 児童3.87 教員3.77)

保護者	よい(77%)	まあまあ(23%)	やや不十分(0%)	不十分(0%)
児童	よい(87%)	まあまあ(13%)	やや不十分(0%)	不十分(2%)
教員	よい(77%)	まあまあ(23%)	やや不十分(0%)	不十分(0%)

○積極的に学校開放が図られているか。

(平均値 保護者3.64 教員3.54)

保護者	よい(68%)	まあまあ(28%)	やや不十分(4%)	不十分(0%)
教員	よい(62%)	まあまあ(31%)	やや不十分(8%)	不十分(0%)



【花小まつりで好評だった全校の夢をのせた花岡鉄道】

【10に関するデータ】

○地域人材の活用が図られているか。

(平均値 保護者3.72 児童3.92 教員3.85)

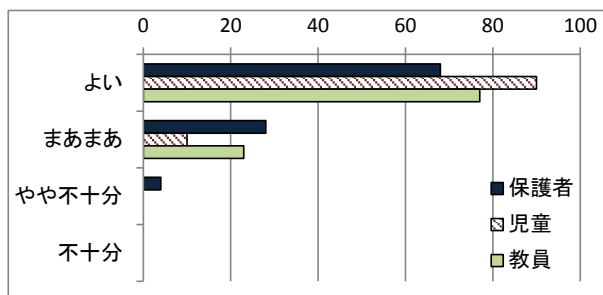
保護者	よい(77%)	まあまあ(19%)	やや不十分(4%)	不十分(0%)
児童	よい(92%)	まあまあ(8%)	やや不十分(0%)	不十分(0%)
教員	よい(85%)	まあまあ(15%)	やや不十分(0%)	不十分(0%)



【ようこそ先輩～陶芸教室】

○地域に対する愛着心や誇りを高める実践がなされているか。

(平均値 保護者3.64 児童3.90 教員3.77)



【折り紙サークル～立体的な折り紙作り】